

平成28年度 スーパーサイエンスセミナー
「世界は理科でできている」

目的 最先端で活躍する科学者の講義を受けることによって研究文化に触れ、科学研究に対する興味・関心を高め、知識・理解を深めるとともに、科学リテラシーの育成を図る。

日時 平成28年6月9日(木) 13時20分～14時50分

講師 広島大学大学院生物圏科学研究科 長沼 毅 教授

参加者 全生徒、保護者、卒業生、教職員

【セミナーの様子】



【参加者感想】

- ・長沼先生のお話は未知なものばかりで、好奇心が大変くすぐられました。今日のご講演を通して、世界が大きく広がりました。
- ・以前、火星移住計画の記事を読み、興味をもっていました。火星の水深×火星の重力=6500になったとき、鳥肌が立ち、自分もこのような研究をして、次世代に繋げていければいいな、と思いました。
- ・先生の話聞いて、研究において大切だと考えたことは、外に出て歩き、色々なものを発見し、体験することだと思いました。発見したものは研究の種となり、体験することはひらめきとなる。このことは私たちの日常生活と同じだと思いました。今日、学んだことを生かして周りをしっかり見ていきたいと思いました。
- ・極地でも、他の生物と共生・生存できる生命の強さがすばらしいと思いました。また、頂上に向かう道は決して1つではないことを知ることができました。『山はどこから登るかではなく、登り続けることが大切だ』という言葉胸に、これから自分もがんばっていきたくと思いました。
- ・夢が大きくて素敵だと思いました。小さいころ私も宇宙が本当に大好きで惑星や星などたくさん知っていましたが、今ではあまりに難しいのではないかと考えて別の道を考えていました。でも、今日のお話を聞いて、もう少し考えてみようと思いました。
- ・宇宙飛行士の最終試験まで残るなんてすごいと思いました。そして、もし宇宙に行けないなら地球をくまなく探そうという考え方がとてもおもしろいと思いましたし、私も生命の誕生や地球外生命にとっても興味があるので、将来は、長沼先生のように大きなテーマで研究しようと思いました。
- ・南極の厚い氷の下の湖や、地球でも最も乾燥している砂漠でさえ生物がいることに驚きました。思っていた以上に技術が進歩していて、昔はSFとされていたことが実現可能ということがすごいと思いました。
- ・講演前に、長沼先生のHPを拝読させていただき、研究に対する熱い情熱を感じ、先生の講演を大変楽しみにして参加いたしました。期待どおりのお話で、先生から新たなことに挑戦するパワーを頂くことができました。
- ・子供たちに学ぶ楽しさやきっかけ・生き方を教えていただきました。
- ・すばらしい先生のお話を高校生が聞けることは、とてもありがたい取り組みだと思います。
- ・小さな事から勉強して少しずつ夢に近づいていくのだと感じました。子供にも、大きな夢をいだいてコツコツと頑張りたいと思っています。
- ・夢を叶えた人たちの大きな理由=諦めないこと。自分の夢に対して自分から手を離さないこと。小さいと思える疑問にも真摯に取り組むこと。
- ・今ある立場において、一生懸命できることはやるということをお子に理解させたいです。